

Tongaliビジネスプランコンテストとは？

東海地区（愛知県・岐阜県・三重県）のすべての大学の学部生・大学院生・ポストドクターを対象としたTongaliビジネスプランコンテストは、学生が持つ技術やビジネスシーズ、アイデアをもとにした起業プランを募集し、大学発（学生発）ベンチャーの創出と起業家育成を目的として開催します。

本コンテストに採択されたビジネスプランは、9か月を目処に、メンターによるメンタリングとブラッシュアップを経て、確度の高いビジネスプランに仕上げていきます。また、期間中に国内外でのビジネスコンテスト等への参加を促し、より多様な視点でプロジェクトを遂行する能力の獲得を支援します。

最優秀プロジェクトおよび、3位までのプロジェクトには、[なごのキャンパス](#)のコワーキングスペースを一年間使用する権利を授与。

また、入賞5チームには、Tongaliハウス（名古屋大学 NIC 3階）使用権を授与。活動支援金40万円～80万円。

また、各協賛企業からのサポーター賞を授与。

さらに、9か月後には、出資およびアクセラレートプログラム等のオファー獲得を目指し、ベンチャーキャピタル等を招いたDemo Dayを開催予定。

応募について

応募期間

2019年4月22日（月）～5月7日（火）

応募資格

東海地区の大学の学部生・大学院生・ポストドクターが代表者で構成されるチーム・個人であること。

応募方法

所定の申請書を[ビジネスプランコンテストウェブページ](#)より提出してください。

留意点

- 1代表者につき1プランのみの応募です。
- アイディアを実現したいのであれば、「より多くの人にアイディアを聞いてもらうこと」が、実現への近道です。しかし、良いアイディアは、本コンテストで公開する以上、盗まれるということも可能性がゼロではありません。特許権などの知的所有権等が発生しそうな場合は、コンテストでプレゼンする前に出願をしておくことも一つです（必要があれば、ご相談ください）。
- 本コンテストに応募したアイデアの著作権侵害等については応募者の責任とし、Tongaliプロジェクトは関与しません。
- 公序良俗の観点から適当でないと判断されたプランの評価は行いません。
- 5/11の予選会に向けて『ビジコンのためのプレゼンテーションスキル養成講座』を4/18(木)に実施します。

ビジネスプランコンテスト 予選

開催日： 2019年5月11日（土） 13時～17時

場所： 名古屋大学 NIC 1階 Idea Stoa

応募者は、各自5分間のアイデアに関するプレゼンテーションを行った後、審査員より5分間の質問を受けます。

審査は申請書とプレゼンテーションを基に行います。審査項目は以下の通り。

- ① 意欲・熱意（そのプランに熱意や思いがあるかどうか）
- ② 優位性（新規性・独創性、アイデアの特徴、競争力がある）
- ③ 市場性（市場における明確なニーズ・需要が見込まれる）
- ④ 将来性（継続的な提供か可能か、将来に向けて発展していくか）
- ⑤ 人間性（魅力的であり応援したいと思わせるようなキャラクターかどうか）

上記に加え、プレゼンテーション自体および質疑に対する応答等についても審査対象となります。

ビジネスプランコンテスト 本選

開催日： 2019年6月1日（土） 13時～17時
17時～18時 懇親会
場所： Nagoya International Legend Hall

応募者は各自7分間のアイデアに関するプレゼンテーションを行った後、審査員より5分間の質問を受けます。

審査は、申請書書類とプレゼンテーションを基に行います。審査項目は、以下の通り。

- ① 意欲・熱意（そのプランに熱意や思いがあるかどうか）
- ② 優位性（新規性・独創性、アイデアの特徴、競争力がある）
- ③ 市場性（市場における明確なニーズ・需要が見込まれる）
- ④ 将来性（継続的な提供か可能か、将来に向けて発展していくか）
- ⑤ 人間性（魅力的であり応援したいと思わせるようなキャラクターかどうか）

上記に加え、プレゼンテーション自体および質疑に対する応答等についても審査対象となります。

審査

・ 採択プロジェクト

・ 最優秀賞

なごのキャンパスのコワーキングスペースの一年間使用権、Tongaliハウス（名古屋大学 NIC 3階）使用権を授与。

活動支援金 80万円

・ 第2位優秀賞

なごのキャンパスのコワーキングスペースの一年間使用権、Tongaliハウス（名古屋大学 NIC 3階）使用権を授与。

活動支援金 50万円

・ 第3～5位優秀賞

なごのキャンパスのコワーキングスペースの一年間使用権(3位のみ)、Tongaliハウス（名古屋大学 NIC 3階）使用権を授与。

活動支援金 40万円

その他の賞

サポーター賞

三菱商事賞、大和証券賞、中京テレビ賞、UTECS賞 日興証券賞、等 10賞

海外チャレンジ賞

South by Southwest (SXSW) in TEXAS でのピッチ・出展挑戦権 2チーム

・ 成果報告

採択されたプロジェクトは、9か月後に成果報告書および会計報告書を提出いただくとともに、Demo Dayで成果発表をする機会が得られます。

予選会審査員（予定）

- 日本ベンチャーキャピタル株式会社 執行役員 北岡 侑子氏
- セレンディップ・コンサルティング株式会社 取締役 内藤 由治氏
- 株式会社ミライプロジェクト 代表取締役／株式会社エイチーム 取締役 牧野 隆広氏
- ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役 森戸 裕一氏

※ 氏名五十音順

本選審査員（予定）

審査委員長

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部長

佐宗 章宏

審査員

Beyond Next Ventures 株式会社 マネージャー

金丸 将宏氏

※氏名五十音順

株式会社東京大学エッジキャピタル 取締役パートナー

坂本 教晃氏

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役

堤 孝志氏

NTT西日本 オープンイノベーション推進室長

中村 正敏氏

福岡地域戦略推進協議会 シニアフェロー

平山 雄太氏

／IDEAPOST株式会社 代表取締役

／世界経済フォーラム 第4次産業革命日本センター

スマートシティ プロジェクトスペシャリスト

受賞チームの義務

- 『リーンローンチパッド名古屋』の受講（全6回 6/15, 6/22, 7/7, 8/3, 8/24, 9/7）
- 担当メンターによるメンタリング
- 10月以降隔月開催（予定）の進捗報告会『壁打ちアワー』での発表
- 2020年3月に開催（予定）のDemoDayでの成果発表
- コンテスト後9ヶ月間の活動についての成果報告書および会計報告書の提出
- 【海外チャレンジ賞受賞チーム】英語研修への参加（開催日未定、複数回）

活動支援金について

受給した活動支援金は起業活動のための資金として有効に活用し、①成果報告書、②会計報告書を提出し、精算を行なう。

活動支援金の交付に先立って誓約書を提出いただきます。

用途の例としては、以下を想定していますが、その他に使用する場合、事務局まで相談ください。

1. 調査費
2. 広告宣伝費・広報経費
3. 消耗品費・通信運搬費・賃借料・旅費・光熱水道費・印刷製品費・資料購入費
4. 創業に必要な機械設備・工具器具類等の購入・修繕に要する経費
5. プログラムの使用権取得に要する経費
6. 事業促進に必要な原材料費
7. 外注加工費

その他

以下に該当した場合は、活動支援金の一部または全額の返還を求めることがあります。

1. 学籍を失ったとき。
2. 所属する大学賞罰規定により懲戒処分を受けたとき。
3. 起業活動に関する報告義務（成果報告書、会計報告書）が履行されないとき。
4. 傷病その他の事由により起業活動を中断したとき。
5. その他、活動支援金の趣旨に著しく反すると判断したとき。